



### 人生と花

も魂が許り教ゆる事を神は知るのであらう。

○祭りの後の

卓上の一輪にも自然と人生萬足の次ぎに来るものは不の接觸に微妙の働きあるを足なり歌び極る時悲多し感ず況や森羅萬像の中に包と聞く御馳走酒に腹を壊さくまれ行く人間の一生は敢て有志の諸君用心デーをて詩人の感觸に依りてのみ作りては

努力は真理の発見者  
何ひ得るものにあらず凡て  
の人間の何物に依りてか物  
空腹で飯にありついで時僕  
語られ盡して居る詩人のよ  
くせざるは書となり書より  
人間は食する爲めに大部分  
實際に於て優美且つ一般的  
の感賞するものに花をを作  
るにある農工商及官吏の區  
別なく此自然の一物に戀纏  
て努力の後に來るものは吾  
を求め高き底きの階級なく  
自然に對する欲求を満足す  
るのである人は自然の子で  
ある詩に嫌きたらず繪に人  
問色の多きに備み文藝一切  
を見開して其詠詠と潤色に  
大部分を占め俗惡の我魂を  
毒するに對し欺かざる自然  
として花をの清新にして之  
れを愛撫する時自然に包擁  
せられ得る我が魂の喜びを  
知るのである。

○教ゆるものは  
良心の命するまゝに  
荷しくも人を教ゆるもの、  
資格として心より心へ而か  
とも誠らしく聲をひそめ  
も良き傳道者としての心掛  
けの必要なきや舉措況てが  
對者の師である口にて教ゆる  
るのではない心にて教ゆる  
事考へたならば良心の持  
つ範圍を擴張すべきである  
ゆわゆる先生職をつき子弟  
誠に聞く形に於て變らざる  
用心

近來大風呂敷に反物十反位  
を包み入りニクソツに周囲  
として花をの清新にして之  
れを見廻し小聲で反物を買  
つて寄れないか、實は—店  
から、チャリした品物なの  
だが値段は格違の安價で買  
つて行く、其外に二反は口  
留料として置いて行くから内  
省にしてもらいたい、など  
も良き傳道者としての心掛  
てアツチ、コツチの家庭を  
訪問する者が大部あるよう  
だ、單なる商賈としては餘  
りにあくどく、さうゆふ奴  
事考へたならば良心の持  
つ範圍を擴張すべきである  
ゆわゆる先生職をつき子弟  
誠に聞く形に於て變らざる  
用心

小名濱分院開設  
毎週月、水、金、午後五時出診

耳鼻科専門 大和田醫院  
本院 平町南町一六  
電話 平一七〇番

内科 外科  
小兒科  
花柳病科  
平川醫院  
江名町 電話 二六番

○腦一番  
頭痛、めまひ、不眠  
に よく キク  
試薬無代進呈 本舖 開陽堂  
小名濱町銀座街

技術流行型揃安價迅速に  
御注文に應ずる  
皇恩會  
小松洋服店  
平町才植小路十二  
小松 正 治

口腔 外科  
齒科 一般  
池部科醫院  
江名町

内科、小兒科  
婦人科、花柳病科  
久保田醫院  
小名濱町  
電話 二二番

日本形セメント瓦製造  
配合確實  
最優良品  
色合法文ニ依リ  
高木惣次  
小名濱町西町

口腔 外科  
齒科 一般  
木田科醫院  
小名濱町電話一〇五番

風景、人像  
御寫眞  
尾城寫眞館  
小名濱町電話一〇一四番

江名町軌道會社向  
高級賣藥販賣 布袋屋百貨店  
胃腸専門藥  
健胃 麻荳散  
定價 三十錢  
五十錢  
胸腹の痛み、さしこみ、胃弱、消化不良  
効能 嘔氣、曹嗽、食過ぎ、過飲、胃擴大、悪心  
胃加答兒、驅虫等に絶大なる特効あり

海運輸送取扱一般  
品川白煉瓦輸送特約店  
平澤回漕店  
平澤運輸合資會社  
小名濱町橋本

電話開通七十八番

商品豊富な店

江尻呉服店  
商號 西村屋  
通稱 タイモン  
小名濱町橋本  
電話 二十四番

船舶發動機製作  
並ニ 修繕  
電動機諸機械  
販賣 修繕  
小名濱町漁港入口  
丸八鐵工場  
電話開通(小名濱)一七五番

東海林太郎 吹込  
流行 普及 鼻唄  
但 特定期間中  
定價金五十錢  
計時 藤 佐

撞球場  
ドヤリピ  
波金  
隣イナブア本橋町濱名小

電話開通七十八番